

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くるみの森 西谷		
○保護者評価実施期間	7年 1月 14日		7年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 23名
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		令和7年2月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	長期休暇・祝日・土曜日など休日のイベント内容をスタッフ間で何度もミーティングを行い、固定化しないように子供達が楽しめるように考えています。	梅雨の時期や雪の時期は室内で楽しめるお出掛け先を考えています。調理体験やおやつクッキングでは難しくなく、しっかり行程があり、子供達の好きな食べ物や嫌いな食べ物を把握してメニューを組んでいます。お出掛け先は1カ月前に行った場所は避け固定化しないようにしています。	スタッフ間でイベント内容を決めるだけでなく、利用していただいている子供達にも“楽しかった場所”や“行きたい場所”などを聞いて取り入れられたらと思います。また県内でのお出掛けだけでなく県外などのお出掛けも少しずつ増やしていけたらと思います。
2	保護者様へ寄り添う気持ちを大事にしています。送迎に伺った際や、お迎えに来ていただいた際に、学校やお家での困りごとを相談された際にはお聞きし、少しでも保護者様が相談して良かったと思っただけのように誠心誠意向き合っております。	送迎に伺った際や、お迎えに来て頂いた際にくるみでの様子を分かりやすく細かく申し送りさせて頂き、その日頑張っていたことを必ずお伝えするようにしています。頑張れなかったこと等もお話させていただき、次からはどうしていかなど今後の対応などもお子様や保護者様と一緒に考えお話をさせて頂いています。	面談や、送迎・お迎え時にお話しを聞くだけでなく、保護者様が相談・お悩みが少しでもあれば事業所にて場を設けられたらと思います。
3	必ず毎月1度は他店舗と合同で研修を行っており、他店舗との情報共有も行っています。	研修内容の議題を変えて毎月違う内容での研修を行っています。資料だけでなく映像での参考資料等も使い、スタッフ1人1人が理解できるよう分かりやすく、今後の支援に繋げていけるような研修を心がけています。	必ず行う研修とは別に、これからはスタッフ間で“どのような内容の研修を行いたいか”を話し合い、行いたい研修もしていけたらと思う。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブ、児童館、地域の方々との交流や、活動する機会がもてていない。また、保護者会等の開催を行い保護者同士の交流の機会を設けていない。	コロナ等の感染症拡大防止のため自粛していましたが、今後はどこか場を借りて交流ができればと考えています。	まずは地域の方々との交流を考え、地域のゴミ拾い等を行えたらと思っています。保護者会等は事業所での交流となると狭いため、場所を借りて交流の場が開けたらと考えています。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が少ない。	ペアレント・トレーニングに関する知識がないスタッフが多いため研修を受け知識を得ていきたいと考えています。	ペアレント、トレーニングに関する知研修を受け知識を得てから、家族支援として提供していきたいと思っています。またご家族様も参加できる研修会や情報提供の場を設けられたらと思います。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 くるみの森 西谷

公表日 令和7年3月14日

利用児童数 23名 (20家庭)

回収数 23名 (20家庭)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	1		1	・子どもが増えて少し狭くなってきたような気がする・鬼ごっこや玉入れなどをしているのでスペースはあると思います。	活動スペースを広げられるよう検討しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1		4	・細かく見て対応して頂いているように思います・スタッフが増えてくれると嬉しいです	スタッフの配置や付き添いの数を見直してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3		5	・自分でおもちゃや本を出して片づけられるので分かりやすくなっていると思う	事業所が2階にあるので階段や段差の上り下りの際の声掛けは引き続き行っていきます。また目印をつけるなどの環境整備を工夫してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		2		清掃は毎日必ず行っています。活動スペースは広げられるように検討しております。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	2			・子供に合わせて必要な支援をして頂いています	引き続きお子様1人1人に誠心誠意に向き合い支援を行ってまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	2		2		保護者様にご理解いただけるように分かりやすい説明を行ってまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1				引き続きお子様や保護者様のニーズや課題をくみとり、先を見据えた計画書を作成してまいります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	1		1	・大まかにこうして欲しいと伝えら、こういうことをしていきましょうと具体的に設定してくれ支援してもらっている	引き続き保護者様の思いに寄り添いながら、具体的かつ細かな支援内容が設定できるよう尽力を尽くします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20					計画に沿った支援を行っていますが新たな課題がでた際は、スタッフと情報を共有し計画書の更新を行います。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1		2	・季節ごとの工作をしたり、行事をしたり、運動したり、手先を使ったり色々なことをしている・長期や休日に色々な所へ連れて行って頂いて大変感謝しております	活動プログラムが固定化されないよう、毎日スタッフとミーティングを行い決めてまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	4	7		コロナ等の感染症拡大のため自粛していましたが、今後は交流の場を設けられるよう検討を行います。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20					お子様、保護者様が安心してくるみをご利用できるよう丁寧に説明を行っております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19			1		計画書を更新した際は、保護者様にも支援内容をご理解いただけるように説明を行っております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	4	4	・今はそこまで必要性を感じてはいません	ペアレント、トレーニングに関する知識や研修の仕方を学んでから、家族支援として提供していきたいと思っております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19		1		・話を聞くとそうだなと思うことばかりなので共通理解ができていると思う	送迎に伺わせていただいた際や、お迎えにきていただいた際に保護者様に家や学校での様子を聞くよう努めており、くるみでの様子も細かくお伝えさせて頂いております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	2	1	2		送迎に伺わせていただいた際や、お迎えにきていただいた際に保護者様のお家での相談を聞くよう努めていますが、面談の場が少ないので定期的に面談を行ってきたいと思っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20					・支援していただいています
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	7	3	4	5	・今はそこまで必要性を感じてはいません	コロナ等の感染症拡大により自粛していましたが、今後は保護者会などを開催できるよう検討してまいります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	4			・いつもなにかあった時に即座に対応して頂いて、とても感謝しております	相談やご意見等なにかあった際にはすぐに対応するように努めています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	1				お子様がいない場でのご相談等のご要望があった際は電話や面談等の配慮を行っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19			1	・活動や行事の写真が見れるので、何をしているのか分かり楽しそう	活動やイベントの様子はSNSや会報等で発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1				個人ファイル等の個人情報は鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	3		3		保護者様にむけて各マニュアルの周知は完全とは言えないため工夫していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	2		3		定期的に各訓練を行っていますが、保護者様への発信や伝達が不十分なため、工夫して行われている事をお伝えしていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1		2		安全を確保して支援を行っていますが、ご要望があれば適宜対応していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1		2	・子供を迎えに行った際に子供が出てくる前に先に状況を説明して頂き、どういった対応をしたか説明してくれる	事故や怪我があった際は、すぐに保護者様にご連絡、ご報告をさせていただいております。状況もスタッフで共有をし細かく説明を行っております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20					これからもお子様、保護者様に安心してくみをご利用いただけるように誠心誠意努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	3			・いつも楽しそうに行っています・たまに早めに迎えに行くと「もっと遊びたかった」と言われます	くみは楽しく成長できる場だと思っただけのように、活動プログラムも工夫し、誠心誠意努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20				・先生達にはとても感謝していますとても満足しています・色々な所へ出かけたりしているので家では出来ない経験も出来て満足している・いつも様子を詳細に教えて頂きありがとうございます	これからも1人1人と誠心誠意向き合い、より良い支援が行っていただけるように努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		くろみの森 西谷		公表日 令和7年3月14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	必要に応じてテーブルの収納を行い、ホールの広さを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	3		障害によっては1人の子供にスタッフが付き添う必要があるため、人員を1~2人増やせたらと思っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	事業所が2階にあるため階段の上り下り時や、玄関の段差に注意するよう声掛けを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	3		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月に1度他店舗と合同で研修を行っており、外部研修においては、できる限り参加できるように努めています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		新しい活動の思案、検討を行い実行しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	2	都度、支援の内容や役割の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	気付いた点や、報告、情報をスタッフ間で共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2		スタッフ間で話し合いや見直しを行い、複数組み合わせられるように工夫していきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		下校時間など、学校側からプライバシーの関係でいただけないことがあるため、保護者様との連携を密に行い、情報をいただけるようにしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	情報共有の場がもてない時もあるため、その際は相談支援員さんを通して情報がいただけるようにしています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	移行支援会議などの場への声掛けがないことがあり提供する場がないですが、保護者様にお渡しするようにしています。学校への声掛けも行っていきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		今後は必要に応じて活用していきたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		コロナ等の感染症拡大のため自粛していましたが、今後は交流の場を設けられるよう検討を行います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		ペアレント、トレーニングに関する知識や研修の仕方を学んでから、家族支援として提供していきたいと思います。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎、お迎え時に相談されることが多いため、都度面談の声掛けを行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6		コロナ等の感染症拡大により自粛していましたが、今後は保護者会などを開催できるよう検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情やご意見があれば、すぐに対応するよう心がけています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		活動やイベントの様子はSNSや会報等で発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		室内が狭く場所の確保が難しいため、地域住民を招いての行事などが難しい。他店舗一緒に合同で出来ればと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的(最低年2回)に避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				